

杏林医学会 第42回例会 開催報告

成人先天性心疾患 周術期管理セミナー「Fontan循環を学ぼう」

中 澤 春 政

杏林大学医学部麻酔科学教室

この度、杏林医学会第42回例会として、成人先天性心疾患周術期管理セミナーをweb開催させていただきました。

近年の医療技術の発展に伴い、先天性心疾患に対する治療成績は日々向上しています。そして、それと同時に、小児期に先天性心疾患に対して手術治療が行われ、その後成人となった成人先天性心疾患術後患者が増加しています。先天性心疾患術後患者は施行された術式によりその循環動態は様々で、中には特殊な循環を有している患者が存在します。その為、成人先天性心疾患術後患者が非心臓手術を

施行される場合、一般人口と比較して周術期死亡率が高いとされており、その管理には治療に習熟した多種職のチームでの診療が推奨されています¹⁾。杏林大学医学部附属病院においても、今後増加するであろう成人先天性心疾患術後患者に対する非心臓手術を安全に行うべく、手術部運営委員会の主催で本セミナーが開催されました。

本セミナーは、「Fontan循環を学ぼう」をテーマとして、杏林大学医学部心臓血管外科の峯岸祥人先生、東京大学医学部外科学専攻心臓外科の平田康隆先生、そして東京大学医学部生殖発達加齢医学専攻発達発育学の松井彦郎先生の3名の演者に講演いただきました。まず、峯岸先生には「Fontan術後患者の疫学」として、どのような患者がFontan手術の適応となるのか？やFontan手術が行われる頻度、そして今後Fontan手術術後患者がどのように増加していくのかについてお話しいただきました。杏林大学医学部附属病院がある多摩地域の周辺にも成人先天性心疾患術後患者が非常に多いことから、多摩地域の中核病院である当院を受診する成人先天性心疾患術後患者は年々増加していく可能性が高いとの事でした。成人先天性心疾患術後患者の生命予後が長くなっており、加齢に伴う悪性腫瘍や脳血管障害などによって非心臓手術が必要となる症例も増加する事が予想され、彼らを受け入れ、安全な周術期医療を提供する環境を整える事が急務であると感じました。

平田先生には、「Fontan手術の術式について」として、Fontan手術の詳細な術式や手術方法、またFontan患者の管理上の注意点などを外科医の立場からお話しいただきました。Fontan循環が完成するまでの施行されるいくつかの手術や、Fontan循環と一言でいっても様々なタイプがあることを、シェーマや手術動画を用いて分かり易く解説いただきました。どのような手術を施行されてきたのかというのは、Fontan循環患者の麻酔管理・術後管理を行う上で、必要不可欠な情報であり非常に勉強になりました。

松井先生は、「Fontan手術術後患者の管理について」を

成人先天性心疾患 周術期管理セミナー #1
「Fontan循環を学ぼう！」
(主催: 杏林大学医学部附属病院 手術部運営委員会)

座長: 細井 温 先生
(杏林大学 医学部 心臓血管外科 教授)

演者

- 1. Fontan手術術後患者の疫学 (19:00~19:20)**
演者: 峯岸 祥人 先生
(杏林大学 医学部 心臓血管外科教室 講師)
- 2. Fontan手術の術式について (19:20~19:50)**
演者: 平田 康隆 先生
(東京大学 医学部 外科学専攻心臓外科 准教授)
- 3. Fontan手術術後患者の管理について (19:50~20:20)**
演者: 松井 彦郎 先生
(東京大学医学部 生殖発達加齢医学専攻発達発育学 准教授)

2023年8月25日(金) 19:00~20:30
オンライン開催(ZOOM配信予定)
当日は下記QRコードよりご参加下さい



(お問い合わせ)
hai0413@ks.kyorin-u.ac.jp
中澤春政
杏林大学医学部麻酔科学教室

テーマに、Fontan術後患者の循環・呼吸管理を中心に話をいただきました。Fontan循環では機能的右室がない為、中心静脈圧の管理が重要である点や、人工呼吸器からの早期離脱が術後管理でもっとも重視すべき点であるなど、臨床に即した実践的な管理方針をご教示いただきました。Fontan循環患者の術後管理において、どのような点に留意すれば良いのか？や見逃してはいけない管理のポイント等をよりはっきりと理解する事ができました。

本セミナーには、外科医、循環器内科医、麻酔科医をはじめとして、手術部、集中治療領域の看護師、臨床工学技士など50人ほどの医療従事者が参加し、講演後の質疑応答においても活発な議論が交わされました。今後、杏林大

学医学部附属病院手術部として成人先天性心疾患患者を広く受け入れていくための、第一歩となる貴重なセミナーとなりました。ご講演にいただきました3名の先生、座長をお引き受けいただいた杏林大学医学部心臓血管外科の細井温先生、また手術部運営員の先生方に心より御礼申し上げます。

参考文献

- 1) 日本循環器学会 成人先天性心疾患診療ガイドライン（2017年改訂版）
https://www.j-circ.or.jp/cms/wp-content/uploads/2020/02/JCS2017_ichida_h.pdf